

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

コルベンシュミット株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋町郷660番地1

(3) 業種

No.3113 業種名:自動車部分品・附属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、平成3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》 参考値

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021年)	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)
エネルギー 起源CO ₂	15,035	13,831 8.0	10,333 31.3	11,356 24.5	11,976 20.4	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	15,035	13,831 8.0	10,333 31.3	11,356 24.5	11,976 20.4	0 100.0	0 100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	生産数が昨年より増加し、結果エネルギー起源CO ₂ の絶対値は増加した。令和5年度は、目標年度のCO ₂ 排出量13,831t-CO ₂ に対してはクリアーしている。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産個数(千個)**

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021年)	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)
エネルギー 起源CO ₂	1.935	1.70 12.0	1.589 17.9	1.465 24.3	1.469 24.1	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	1.935	1.70 12.0	1.589 17.9	1.465 24.3	1.469 24.1	100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.695	0.653 6.0	0.712 -2.4	0.654 5.9	0.641 7.7	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	令和4年度と令和5年度を比べると、エネルギー起源CO ₂ は、1.465(R4)⇒1.469(R5)前年比0.24%増加した {CO ₂ 量：11,356t-CO ₂ (R4)⇒11,976t-CO ₂ (R5)、生産量：7,750 mil(R4) ⇒8,154 mil(R5)へ増加した。} 要因として、①CO ₂ 発生量は、昨年比(R4⇒R5)5.46%増加した。②生産数は、昨年比(R4⇒R5)5.21%増加した。①～②より、CO ₂ 発生量と生産数はともに昨年より増加したが、CO ₂ 排出割合が5.46%で生産数増加割合より大きく、結果、エネルギー起源CO ₂ は昨年比0.24%増加した。また、中国電力のCO ₂ 換算係数(t-CO ₂ /kWh)は、R4:0.000545⇒R5:0.000552へ増えており、同じ電力量でもCO ₂ の排出量が増える要因が考えられる。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気の使用量の削減 (千個当たりCO2換算)	電気の使用量を対前年比 原単位 1 %削減	<高効率照明器具への更新> ・水銀灯からLED照明へ：工務係工場と第1工場 素材合わせて14台完了 ・工場個別照明順次更新①：70台完了 ・工場個別照明順次更新②：42/174台完了 <省エネ型電気機器への更新> ・空調高効率化設備へ更新：総合事務所棟と実 験棟合わせて11台完了
2	ガス使用量の削減 (千個当たりCO2換算)	ガス使用量を対前年比 原単位1%削減	<高効率設備への更新> ・素材保持炉のリジェネバーナー化：4台{4 ゾーン：2基、10ゾーン：2基(R4実施完了)}
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。